

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	この地域のすばらしい環境の中にあわせて季節感、色々な文化でその方のもってある文化を生活の中で呼び起こして頂けるようにと願い独自の理念をつくっている。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回のスタッフ会議等で再確認をし、日常業務に生かしていける様に常に心がけて、日々取り組んでいる。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や地域の人々にわかりやすく伝えるためにご家族様には苑便りにのせて発送し、地域の方には苑便りを回覧にして理解してもらえるよう取り組んでいる。玄関とホールに理念を掲げている。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方とは、常に挨拶を行い、気軽に来ていただけるように努めている。 お野菜はいつも持ってきてくださっている。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	4月の自治会に参加し、認知症の話をし、理解や認知症を1人でも多くの方に知ってもらうように働きかけをしている。5月コンサート、11月の開設記念には多くの方に参加頂き、交流することに努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実際に取り組みはしてはいないが、自治会に出席したときに相談窓口にしてくださいと伝え、管理者がレクリエーション・インストラクターを持っているので役に立ててくださいと話をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の資料をいつでも見れるようにホールの棚に置き、理解し評価を生かしていけるようにスタッフ会議、業務の中で話し合いを行い、取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況、行事等の報告、認知症について話し合いを行いながら、意見を頂き活かしている。 救急、防災の講習会は講師の方も地域の方で、地域の方の参加で行われるのは区長様より言って頂き実行している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者が必要に応じて直接出向き、話を聞きにいっている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	資料を用意し、まずは読むことから始めフランチャイズの勉強会に参加し、理解を含め必要な人にはすぐ活用できるよう支援している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料を用意し独自の勉強会をし、フランチャイズの勉強会に参加し、理解を含め常に心がけて防止に努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安や疑問等を十分に表せるように働きかけと説明を行い、納得を得た上で手続きを進めて個別の配慮や取り組みを行っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には、日常のサービス等に関する意見や思いを伝えられる機会は日々の中で行い、出された意見や願い等は日々の運営に活かしているが、運営推進会議には出席してもらっていない。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月初めに請求書、苑便りと一緒に月の暮らしぶりや健康状態等の手紙を発送し、職員の異動等については苑便りでお知らせし、面会時にはご家族さまとお話をして個々にあわせた報告もしている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、不満、苦情等表せる機会をまず、運営推進会議の出席をどの家族さまも交代で出席してもらって運営に反映させている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	事業所の運営や大きな決定事項に関して、利用者の状況や日々のサービスの実情を直に知っているスタッフの意見を十分に聞き、活かし、反映させている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	いつも要望に柔軟な対応ができるように、特に話し合いはしていないが、いつでも対応ができる体制は整えて調整に努めている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2年以上のスタッフが5名、1年以上のスタッフが1名おり、開設時のスタッフが3名離職後、夜勤専門の方が交代しているだけで、利用者や職員のなじみの関係作りはできており、最小限に抑える努力をし配慮をしている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員が要望する研修を受ける機会はいつでもできるように進めている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員はフランチャイズの勉強会、訪問活動等の交流する機会をもち、サービスの向上の取り組みをしている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者や職員にいつも気軽に話をしたり、ホームに電話をいれたり、出勤したときは利用者と一緒に抹茶をいれてお茶の時間をつくり、管理者とは月1回は食事に行き、電話はいつでも連絡をとっており、年3回は全員参加の食事会もいれている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者や職員個々をみとめており、ホームに出勤したときは誉めたり、アドバイスをして働けるようにいつも心配りはしている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	言葉かけを多くして、ゆっくりとご本人に確認を取りながらご本人を受け止めることに努めて、話をよく聴くことを大切にしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時には、利用者の状況をお伝えして、家族とはいつも話をして、受け止める努力をしている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時の本人、家族の実情や要望を元に、その時点で何が必要かを見極め、話し合いをもち対応に努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1ヶ月は利用者のペースで経過していただき、徐々に馴染めるように3ヶ月間の中で、利用者が安心して納得した上で生活をして頂けるようにと、家族と話し合いを持ち、相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員のわからない時代の生活の話をして頂いたり、知らない歌を唄ってもらったりと利用者に色々な事を学んだりする機会を多く持ち、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、支えあい関係を築いている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時、電話で対応し気軽に話をする関係作りをしているので、家族に多くの情報を得られ、喜怒哀楽を共にし支えていく関係を築いている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時は居室でゆっくり時間を取って頂き、食事を一緒にしてもらおうこともある。外出、外泊してもらい病院受診もできるだけ家族と一緒にお願いをしており、家族参加の行事はきちんと参加の案内をし呼びかけもしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達等と居室でお茶の時間をゆっくりととって頂いたり、時には一緒に食事もとって頂いて、関係が途切れないよう支援に努めている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日中、ほとんどの方がホールで過ごされるので、話を好きな方同士でよくされたり、車椅子を押してあげたり、危ない時には言葉か掛けをされたりと関わり合い、支えあえるように努めている。見守りをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了にも利用者や家族とは、電話、手紙を通して関係を断ち切らないお付き合いを大切にしている。 野菜を持ってきてくださる家族とのお付き合いもしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向について関心を払い、しっかり把握し困難な場合はカンファレンスノートですぐにどのスタッフにもわかるようにし、スタッフ会議で、ご本人の立場に立って、意見を出しあい検討し、介護計画書に活かしている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴を聞き、暮らし方、サービス利用に至った経過を知り、プライバシーに配慮しつつ職員が本人・家族とのなじみの関係を築きながら、日々の中でこれまでの暮らし捉えていく積み重ねが大切であると心がけて努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの一日の暮らしの流れにそって本人の状況を総合的に把握し、見つめる目を養いながら把握に努めて、見落とされやすい本人のできる力、わかる力を暮らしの中で発見していくことに努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員が気づきや意見・アイデアを出し合い、話し合った結果をもとにサービス担当者会議を作成担当者、管理者、本人の担当者でご家族の要望も生かしながら、再度、話し合いを行い、介護計画書の作成をしている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	サービスの期間にとらわれず、変化に応じて、本人・家族と話し合い、サービス担当者会議を行い、現状の即した新たな計画を作成している。 変化が生じた場合は別にチェック表で状態を把握もしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人を身近で支える職員しか知りえない事実やケアの気づきを生き生きと具体的に記入するように心がけて、記録を行いよりよいケアに向けて、カンファレンスノート、必要に応じて別チェック表を用意して、情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	車イス利用の方が自由に外出できる様に、職員が車イス対応の車を持っているので、ご家族に貸し出しを行っている。家族が遠方でまったく対応できない方には、職員との外出、小旅行の支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	校区の社会福祉協議会の会長、ボランティアの方、町の公民館長の方々との交流会、市議会の方のコンサートや、「自宅へのバラの花の見学をさせて頂いたり、防災救急講習会の講師も地域の方にして頂いている等協力しながら支援している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の選択肢を増やし、利美容に関してこれまで行かれていた美容室、ご近所の美容室、訪問美容、ご家族同行の美容室等の利用を意向や必要性に応じて利用するための支援をしている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	フランチャイズの勉強会にきていただき、地域包括支援センターの役割等のお話も聞き、連携を図りながら、個別支援をしていく確認をし、協働しながら、認知症の人を地域で支えるための地域資源ネットワークの拡充に努めることが求められていくのだと思っている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に納得が得られたかかりつけ医療の確認を行い、利用者の方の相談があるとき、ご家族と同行される方に関して手紙等を書いて、受診して頂きかかりつけ医との関係を築きながら支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	スタッフ会議、連絡帳、カンファレンスノートを利用し、全職員が常に具体的に確認し合い、プライバシーの確保の徹底を行っている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その人らしい希望や願いを意図的に引き出す言葉かけや話し合いをしたり、言葉で十分に意思表示ができない場合であっても、表情や全身での反応を注意深くキャッチしながら、日々の密接な関係や馴染みの中で支援をしている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりの生活のリズムやその日に本人がしたいと思っていることをとても大切にし、居室で過ごしたい方にはゆっくりしてもらい、ホールで過ごされる方が多いので個々のレクリエーションを取り入れたり、全体のレクリエーションを取り入れて、生活をしてもらっている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	おしゃれな服を持ってある方ばかりなので、行事ごとにいつもおしゃれにして頂き、食事、お茶をしてもらう様に常に心がけている。 本人の望む店がある方は、美容室に行ってもらっている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好きなメニューを聞いたりして、メニューに活かし、お手伝いができる利用者には一緒に準備・片付けをもらっている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	女性の方ばかりなのでおやつを楽しみにされているので、飲み物のお好みを聞いたり、10時のお茶にもお菓子を出し、3時のお茶には手作りのおやつを心がけており、利用者が喜ばれるおやつを取り入れている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別に言葉かけによる排泄の誘導や介助を行い、チェック表をもとに一人ひとりの排泄のパターンが把握されている。日中はリハビリパンツ、尿とりパッドをできるだけ、使用せずに排泄ができるように支援している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の方が毎日入浴を希望されておらず、月・水・金、季節によって午前と午後の時間を決めて行っている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣、状況に応じて午睡をしてもらい、夜間も消灯時間は決めているが、その方のペースで消灯されており、朝の起床時間もその方のペースを大切に、支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎月ホールの壁に折り紙のタペストリーをその方の力に合わせて折ってもらい、全員の方での作業を必ず取り入れ、あとは一人ひとりの特技、興味を生かしてランチョンマットの裁縫、計算ドリル、組みひも、戦前、戦後の暮らしのお話をしてもらっている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時にご家族が希望される方に対しては使えるように支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	いつでも一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるように支援し体制は整えている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に2、3回は、利用者とスタッフ全員で外出を行い、それ以外に花の見学を季節によって交代でドライブに行けるように支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望があるときはいつでもできるように支援し、手紙のやり取りができるようにしてる。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居室でお茶を楽しんでいただいたり、食事を一緒にしてもらったりもしており、ご家族様には、食事の試食もしてもらいながら工夫している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は正しく理解しており、資料等を読んで勉強を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	朝の掃除の時間、朝食後、職員が1人で対応する時間、夜勤者が1人になった時間は玄関の鍵はかけている。それと利用者の状況に応じて、ホールにおられる方の居室の鍵を個人を守るためにかけている。ホームに出入りされる方が逆に鍵をかけて下さることもたび多々ある。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の動きやサインを察知し、全員の様子をさりげなく常に見守っている。 日中、居室で過ごされる方も常に訪室して、安全に配慮し、夜間hあ消灯されるまでは訪室を繰り返し、時間毎の巡回を行い安全の確認をしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤や刃物等は利用者の身近に置かれており、必要なものを排除するのではなく利用者の状態で取り決めをしており、内服は事務所に保管し、食事時に取りに行き対応している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態に応じた事故防止について、スタッフ会議で話し合いを常にし、リスクや危険を検討し報告や危険への気づきを収集し、事故防止に活かしていく取り組みをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に1回は講習会を行い、全ての職員が応急手当や初期対応ができる様に訓練をしている。 講習会には講師の方にして頂き、地域の方の参加もある。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の具体的な避難対策について検討し、いざという時に慌てず、確実な非難誘導ができるよう、月始めには利用者が避難できる様に日常的に訓練をし、講習会時に地域の方にも参加してもらい協力を得られるよう働きかけている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の安全を確保し、抑圧感のない自由な暮らしを支援するために、面会時や電話をかけて、家族の方と話をすることを大切に、家族に納得の上で支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め速やかに情報を共有し、誰もがすぐわかる様に表を作り、様子の把握ができる対応をしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	週に1回、夜勤者で一週間分を作りケースに保管し、毎日一日分の薬を取り出し、ケースに入れていく。 薬の目的や副作用、用法や用量の説明書を一人ひとりのカーデスクに保管し、支援、確認に努めている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食品を30品目1日にとれる様に食材に心がけて、毎日、朝は麦を主食にいれて、繊維の多いものを取り入れ、利用者の応じて、切り方、量、塩分、控えめなど対応し、廊下歩行等を夕食前にして頂くように働きかけに取り組んでいる。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、言葉掛けによりされる方、介助する方、居室にてされる方、力に応じた支援をしている。 義歯使用の方は、週1回の洗浄を曜日を決めて行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日30品目の食材を摂るよう栄養バランスを考え、水分量を確保できるよう心がけて、一人ひとりの状態に応じて、切り方、量、塩分控えめ等に配慮しながら、支援をしている。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種を受けて頂き、感染症に対する資料をみて確認し、対応について勉強会を行って。	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所の掃除、用具の清掃等は夜勤者で消毒するものを決め、衛生管理を行い、食材はこまめに買い物に行き、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の外は花壇があり、植木を入りに飾り、玄関の内には季節を感じるような飾り付け、置物などで工夫し気分よく出入りをして頂くよう心がけている。広い苑庭もあり、木々が植えられ、圧迫のない周囲の工夫をしている。	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの壁には利用者の方の折り紙で作って頂いた季節を感じるタペストリーがあり、窓にはブラインドがあり、光の配慮をしており、トイレや浴室は布で使って案内を表示し、共用の空間がすぐわかる様に工夫されていると思う。	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中に、大きなテーブル3つあり、ソファや小さいテーブル2つあり、思い思いの場所で過ごせるような居場所の工夫をしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族にお話をして、利用者の希望で仏壇や家具を入れてもらい、好みのものを活かして居心地よく過ごせるような工夫をしている。 泊まりの部屋として使用して頂く為に、居室には洗面台もあり、低いタンスを設置し物を置ける工夫もしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除時に全窓を開けて、空気の入替えを行い、温度調整は利用者に聞きながら、衣類調整をし、利用者の状況に応じてこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを廊下、トイレ、居室の入り口、玄関内に設置し歩行の安全、ホールに洗面台を置き、すぐ誰もが口腔ケア、手洗いができるようにしてあり、車イスの対応できるトイレをホールの近くに設置し、裏の方にも普通のトイレを設置し、自立した生活が送れるように工夫している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入口に一人ひとりの写真を貼り、ご本人の居室であることが確認できるようにと考えており、ホールの洗面台の横にはタオルを一人ひとり用意している。そのタオルがご本人のものとわかるように目印(名前)をつけるなどの工夫をしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	苑庭にでて、花をみたり、散歩したりして利用されており、真夏以外や天気判断し、散歩をかねて、近くのゴミ出し場まで週2回を行ってもらい、活動してもらっている。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々、理念に添った支援ができています。苑便りにもそれが表われていて、ご家族や、見られる方々に大変好評で、家族に2部以上送付している所もある。